

クラブ書道・クラブ三線スタート

今年度も前期のクラブ活動がスタートしました。クラブは、書道、三線、琉舞です。講師は、書道 知花賢正事務局長、三線 金城佳隆氏、琉舞 宮城伸子氏です。

4月7日に書道がスタートしました。筆の扱い方、基本の点画、「三」の字を通して「そり、たいら、ふせ」を学びました。最後の作品完成まで9回の指導が行われます。



姿勢を正し、字を正し、心を清める良い時間となりました。日頃、児童に書かせている立場ですが、今回は、私自身が習う立場になり、字の難しさを改めて感じました。たった三画の「三」という字でしたが、「そり、たいら、ふせ」の書き方があることを知りました。書いていく中で「局長に見てもらいたい。教えてもらい、きれいに書きたい。」という気持ちになり、児童もこんな気持ちで習字の授業を受けているのかなど児童の立場を感じることもできました。研究も大切にしながら、人間を磨く上でこのようなクラブ活動の時間も大切にしたいと思います。
佐敷小学校 久保田力也

金城佳隆先生のクラブ三線は、4月14日よりスタートしました。三線の持ち方、各部位の名称、音の出し方を学びました。始めの練習曲「チューリップ」まで音出しをすることができました。金城先生より方言文化の大切さ、「見て学ぶ」姿勢など郷土文化のよさをご指導いただきました。「安波節」「安里屋ユンタ」の2曲をマスターすることが目標です。



人生初の三線練習に取り組みました。ピアノも全く弾けないのに、まさか「自分の人生と音楽が交わることがあるなんて」というのが正直な気持ちです。しかし、金城佳隆先生の「伝統文化をもっと学校で取り扱うべき」という言葉を受けて、また、先生の熱心な指導のおかげで楽しく学ぶことができました。名護親方の格言のように、最後は下手なりに曲が弾けるように楽しく取り組んでいきたいと思ひます。
白川小学校 山城昌義